

## 《 採用時における個人特性分析の活かし方 》

「1. どういう性格・パーソナリティか」を見ると、「努力型・規則性」、「活動型・身体性」が高く、「思索型・内閉性」、「積極性・競争性」は低いです。「努力型」のもう一方の「持続性」も平均以上であることから、几帳面であり、徹底性があるようです。また「積極型」のもう一方の「自尊心」も、それほど高くありません。行動力はあるが、人を押しのけ目立とうとすることはしないようです。これらを踏まえたパーソナリティ・スケッチが描かれています

「3. 基礎的な職場場面での社会性」は、「協調性」、「積極性」が高くなっています。個人で活動するより、組織・チームで他者との関わりの中で力を発揮するようです。この「積極性」は仕事・対人関係における積極性で、パーソナリティの「積極型」とは、意味が異なります

「感情安定性」も高く安定していますが、パーソナリティが積極型でないだけに、環境次第では組織内に埋没してしまうことも考えられます。全体的に標準に近い指数が並び、将来の成長分野の広さが感じられます

「4. どういうことに意欲・やる気をだすか」は、「秩序欲求」と「物質的欲求」が高くなっています。これらはモチベーションの初歩レベルの欲求です。「達成欲求」、「求知欲求」という高次レベルの欲求は未開発ですが、新卒・若年者の場合、職業体験を通じて、こうしたレベルの欲求が高まるので、大きな問題ではありません。3. の「積極性」と関連するためか、「勤労意欲」は高いレベルにあります

2ページ目の【本人の性格特性】は、4つに区切られたゾーンの「右上」にマークされるのが理想です。この方の場合、4つのうち3つまで、右上にあり問題はなさそうです。右上に位置するのが、1つしかないようだと言え、個性的、特徴的な性格特性といえます

【自己評価】は直接的な質問によって自らを評価したものです。自己理解度、本人の自信の度合を示すもので、ここに「D」、「E」が並ぶと、自己評価が低い、自己アピールの意思が低いこととなります。自己を適切に理解できていないとも言えます。一部の項目はP-1と同じなので、整合性を検証し、差があるときは面接で踏み込んで確認をするとよいでしょう

定着・安定性は「+」で、組織に定着しやすいことを示しています。「-」であっても、一部の営業職、技術職などのように個人単位で職務を遂行する場合は、優れたパフォーマンスを示す場合があります

右上の【判定結果A】は、能力を発揮する職務・仕事のタイプ・可能性を予測しています。これを元にした採用判定は「A」（中列最下段）であり、適性の幅が広く、あらゆる職務へ対応できることを示しています

判定結果が「D」、「E」と低くても、特定の職務では優れた結果を出せません。職種別採用の場合などは、【判定結果D・E】で募集職種とのマッチングを検討します

診断結果とともに、帳票の見方の解説書をお付けしています

**OFFICE JUST EYE**

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性 : 社交意識が低い	[Progress bar]			41
	客観性 : 思考的思慮深い	[Progress bar]			59
活動型	身体性 : 機敏な・気軽な	[Progress bar]			64
	気分性 : 感情のまま行動	[Progress bar]			47
努力型	持続性 : 几帳面・忍耐力	[Progress bar]			56
	規則性 : 常識的・順法的	[Progress bar]			66
積極型	競争性 : 勝気な・積極的	[Progress bar]			48
	自尊心 : 気づらいが高い	[Progress bar]			53
自制型	慎重性 : 見通しをつける	[Progress bar]			57
	弱気さ : 取越苦勞・遠慮	[Progress bar]			49

●この人の中心性格は「努力・規則性」および「活動・身体性」であるが、「思索・客観性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・規則性」及び「活動・身体性」の人のパーソナリティスケッチ  
 几帳面であり手掛けたことはとことん追求する徹底性もみられる。しかし、几帳面といっても、細かいことまでこだわるというより全体のまとまりを見たり、また、整理整頓は好ましいことだと思っけていても、いつもきれいでなければ気がすまないというほどではない。物事の判断のしかたは、堅実というイメージであるが、ときに突発的な発想をしたりもする。行動力もあり、身軽で多少の困難にも粘り強い姿勢で対応することができる。ただ、規則や秩序を大切にしている常識家であり、決定事項などは必ず守るといった社会通念が強いあまり、お堅い人との印象を与えることもある。新しい環境などには比較的とけこむのが早く適応力がある。初対面では馴染みにくそうに思われることもあるが、本人は誰とでも気軽に話すことができ、すぐに親しくなれるような庶民的な雰囲気がある。精神的にもわりと安定していて、常に自分のリズムを一定に保つことができる。世話好きで親切的な側面もあり、集団のリーダー格として活躍できる可能性をもっている。

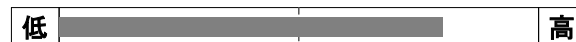
●もう一方の性格特性  
 内向的でなく、外向的な人である。関心が対社会にあり、自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというタイプではなく、職場の雰囲気にも腐心し、気遣いのできる人。ただ、夢のような世界、美の鑑賞や創造の世界に、ひとり芸術的に生きるというサビの部分欠ける。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	普通	強	指数
日常周辺事型	[Progress bar]			47
客観・科学型	[Progress bar]			60
社会・経済型	[Progress bar]			53
心理・情緒型	[Progress bar]			43
審美・芸術型	[Progress bar]			53

物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみ捕らえる。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	普通	強	指数
積極性	[Progress bar]			57
協調性	[Progress bar]			61
責任感	[Progress bar]			51
自己信頼性	[Progress bar]			53
指導性	[Progress bar]			56
共感性	[Progress bar]			55
感情安定性	[Progress bar]			57
従順性	[Progress bar]			52
自主性	[Progress bar]			50
モラトリアム傾向	[Progress bar]			50

自らの意見や提案を出し、率先して実行に移そうとする。  
 仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。

皆から頼りにされ、意見や行動をまとめていこうとする。  
 環境内の仲間と同じ立場になり、物事を考えようとする。  
 多少の事で動揺したりせず、気持ちにムラが少なく安定。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

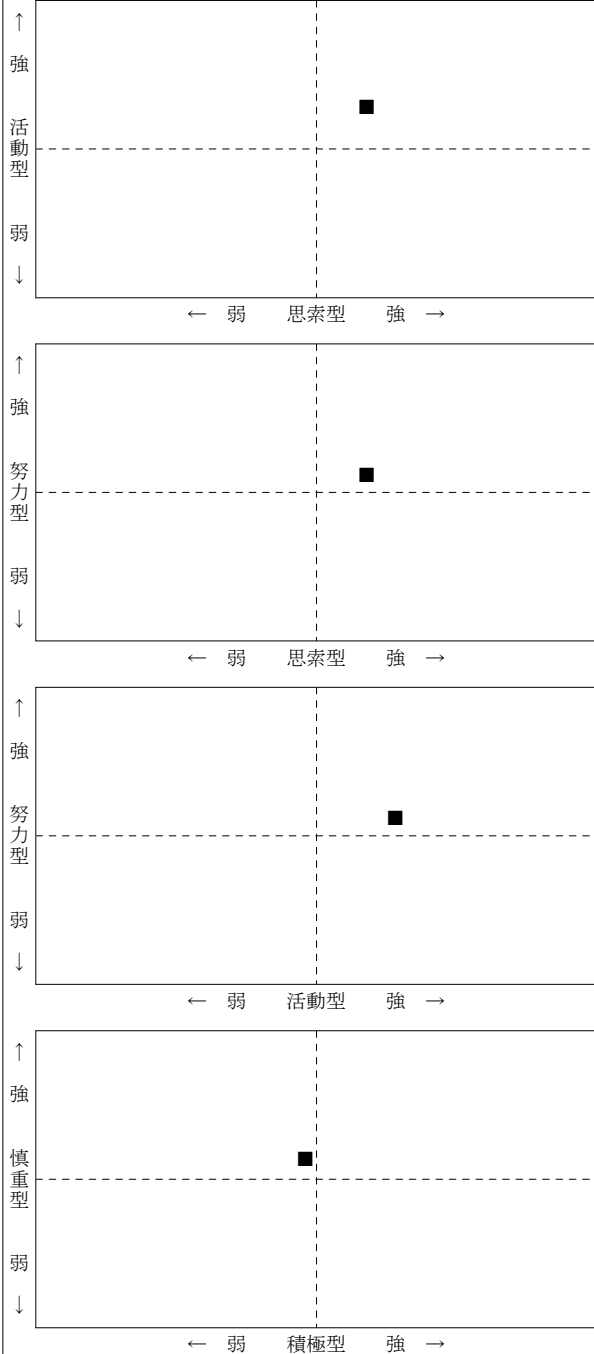
意欲の側面	弱	普通	強	指数
達成 欲求	[Progress bar]			52
親和 欲求	[Progress bar]			51
求知 欲求	[Progress bar]			47
顕示 欲求	[Progress bar]			48
秩序 欲求	[Progress bar]			71
物質的欲望	[Progress bar]			64
危機 耐性	[Progress bar]			48
自律 欲求	[Progress bar]			59
支配 欲求	[Progress bar]			56
勤勞 意欲	[Progress bar]			64

自己範囲内の環境や物事は、キチンと整理しておきたい。  
 モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。  
 他人に依存したり頼りきった生活より、自力で生きたい。  
 人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。  
 仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

●この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「苦勞を乗越え、成長したい」系統の欲求群となっている。逆に「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【本人の性格特性】

■印が本人の位置



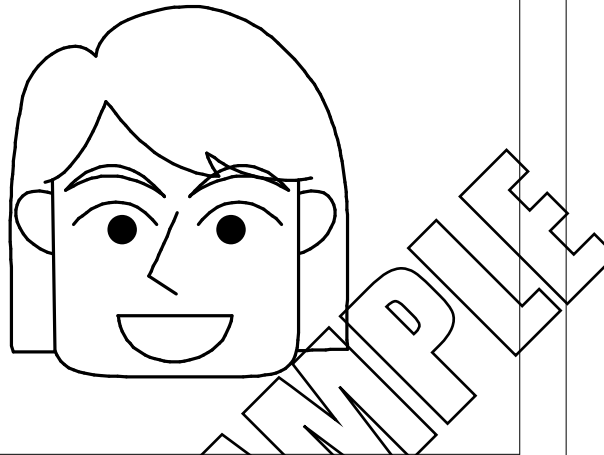
【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性  
 瞳の直径：達成欲求  
 鼻の高さ：顕示欲求  
 顔の輪郭：性格類型

眉の傾き：従順性  
 目の傾き：達成欲求+求知欲求  
 口の形状：親和欲求+協調性

逆三角顔 = 思索型  
 エラ顔 = 積極型  
 細長顔 = 自制型

丸顔 = 活動型  
 角顔 = 努力型



【自己評価】

意欲・ヤル気		管理・対人能力			思考能力										
積極 実意 行意	根欲 熱強 さ	責任 感 気	決断 勇力 	指導 力 	自信 力 	調整 力 	独創 斬新	現状 分析	洞察 力	企画 立案	専門 知識	情報 活用			
A	C	B	A	A	B	C	B	A	C	B	B	C	D	C	B
B		B			C										

【採用判定】

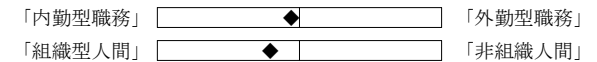
定着性・安定性 = 2

CUBICの判定結果 = 「A」

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性		70
(2) 海外など精神力の必要な職務		64
(3) 足腰のよさが武器になる職務		55
(4) 集中力、緻密さの必要な職務		73
(5) 標準化された仕事や工場労働		74

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- 「最適」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- 「最適」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- 「適切」営業など対人的接触をとまう仕事
- 「適度」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- 「小適」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動

【判定結果D】配置適性1

《適性の高い順》

- 「最適」経理管理者
- 「適切」人事管理者
- 「適切」人事専任者
- 「適切」経理専任者
- 「適切」基礎研究管理者
- 「適切」企画専任者

《低い順》

- 「適度」営業専任者
- 「適度」営業管理者
- 「適切」研究開発者
- 「適切」広報専任者
- 「適切」研究管理者

【判定結果E】配置適性2

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| (1) 「最適」物流   | (1) 「適度」新規事業開発    |
| (2) 「最適」倉庫   | (2) 「適度」研究開発      |
| (3) 「最適」庶務   | (3) 「適度」営業（積極タイプ） |
| (4) 「最適」教育研修 | (4) 「適度」顧客開発      |
| (5) 「最適」編集校正 | (5) 「適度」営業（持続タイプ） |
| (6) 「適切」人事   |                   |